

第1回学校運営協議会

1 実施日 令和5年6月9日(金) 14:00~16:00

2 出席者

(1) 協議会委員(五十音順)

柏原 泰和 (川西地区青少年健全育成協議会会長)

楠 正吉 (三島高等学校同窓会長)

林 武文 (関西大学教授)

松葉 祐治 (高槻市立郡家小学校校長)

山本 富美恵 (三島高等学校PTA会長)

吉川 洋子 (高槻市立第二中学校校長)

(2) 学校側

山下克弘校長、山崎一郎教頭、前田隆志首席、廣澤洋二首席、古謝伸二事務長

3 議題

(0) 6限の授業見学、5月31日開催の体育祭の応援合戦の映像を鑑賞した後、以下の議題についての審議を行った。

(1) 授業見学について

(2) 令和5年度学校経営計画について

(3) スクールポリシー案について

(4) 学校の状況について

4 委員からの指摘提言

(1) 授業見学について

- ・個性が出ている授業で、生徒がとても楽しそう。英語のT-NETの先生もユーモアがあり、楽しそう。見事な英語。英語と数学の少人数もすばらしい。
- ・チャイム前に始まり、教室にいることがすばらしい。
- ・3年生はみんなものすごく真剣に授業を受けている印象。2年生は明るく、1年生は緊張感もっている。
- ・先生との掛け合いとかやり取りもすごく真剣で、本当に感心しました。
- ・チャイムが鳴ると同時に受ける姿勢になって感心した。生徒のように授業を聞き入った。
- ・みんなが楽しそうに、また真面目に取り組んでいるなっていうのはすごく感じました。

(2) 令和5年度学校経営計画について

- ・特に変えるものはなく、目標も非常に高いレベルで維持されており、よく運営されている。
- ・クラブの加入率が、少し下がったのが気になる。それでも非常に高いのだが。
- ・遅刻が増えているが、家庭の問題も大きいと思う。

- ・豊かな人間力を育成するにあたり、今後の国際交流の見通しや前回に出た交通マナーの向上に向けての小学生目線でのボランティアの提案のその後について聞かせてほしい。

→交通マナーの取組みについては、生徒会で検討して貰っている。国際交流については、R6年度以降に再開するために、生徒・保護者にアンケートを取っている。

(3) スクールポリシー案について

- ・上手につくられたのでは。
- ・三島らしさが出ている。ただ、芸術や創造性とかも取り入れないか。一つの大きな特徴だと思うので。
- ・3つ目の「生徒が主体的に学校行事等の企画、運営を行う機会を大切にし、課題解決能力やリーダーシップの育成を図ります。」のところを外から見て大切にされているのかなっていうのを感じているし、そこを大切にしてほしい。

(4) 学校の状況について

- ・定着できない生徒がいることに対し、それぞれの個々の理由やご家庭の事情もあろうと思うが、多い少ないがどうこうではなく、友達を作れないとか、先生と馴染めないからとかいう生徒がいるのなら残念だと思う。自分の居場所や友達をつくるきっかけを、やってもらっているとは思っているのだが、これまでやってないこともやってみてほしい。
- ・少しでも居心地のよい学校づくりをしていただけたら。
- ・クラブ交流の機会は大変ありがたい。これからも連携して、立派な姿を見せてほしい。三島の生徒の刺激にもなれば。
- ・三島高校に行きたいって希望する生徒はやっぱり非常に多い。是非とも、生徒たちが行きたいと思える高校であり続けるよう頑張ってくださいと思う。いい人間関係を結んで、みんなで力合わせて何かやる、そういう楽しみとか喜びとかを、しっかりと経験させてほしい。
- ・不登校の生徒さんなんかに対しても、生徒会の方で何かできることはないかなっていうふうに感じたりしました。
- ・公開授業の参加者増や、新任者に対しケアしたり、教え合ったりすることは大変すばらしい。このまま続けていってほしい。